

## 日本マイコトキシン学会第83回学術講演会プログラム

日 時：2019年1月11日（金） 10:00～18:10（受付 9:30～）

場 所：サンピアンかわさき（川崎市川崎区富士見 2-5-2）  
ランチョンセミナーを除き、講演は1階の大ホールで行います。

### プログラム

#### 10:00-10:05 開会挨拶

国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部長 工藤 由起子

#### 10:05-11:05 一般講演 (O-1 ~ O-4)

座長： 渡辺 麻衣子（国立医薬品食品衛生研究所）  
吉成 知也（国立医薬品食品衛生研究所）

##### O-1 国産りんご果汁中のパツリンの含有実態

○漆山 哲生、尾松 雄士、須永 恭之、山田 友紀子  
農水省

##### O-2 国内流通食品におけるステリグマトシスチンの汚染実態調査

○吉成 知也<sup>1</sup>、小杉 正樹<sup>2</sup>、佐藤 英子<sup>3</sup>、七戸 八重子<sup>4</sup>、竹内 浩<sup>5</sup>、谷口 賢<sup>6</sup>、  
藤吉 智治<sup>7</sup>、脇 ますみ<sup>8</sup>、小西 良子<sup>9</sup>、大西 貴弘<sup>1</sup>、工藤 由起子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立衛研、<sup>2</sup>（一財）日本食品分析センター、<sup>3</sup>川崎市健康安全研究所、  
<sup>4</sup>（一財）日本食品検査、<sup>5</sup>三重県保健環境研究所、<sup>6</sup>名古屋市衛生研究所、  
<sup>7</sup>（一財）食品分析開発センターSUNATEC、<sup>8</sup>神奈川県衛生研究所、  
<sup>9</sup>麻布大・生命環境

##### O-3 国内流通穀類におけるステリグマトシスチン産生菌の分布に関する研究

○佐藤 和貴<sup>1</sup>、吉成 知也<sup>2</sup>、窪崎 敦隆<sup>2</sup>、小林 直樹<sup>3</sup>、小西 良子<sup>3</sup>、工藤 由起子<sup>2</sup>、  
渡辺 麻衣子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京バイオ専門学校、<sup>2</sup>国立衛研、<sup>3</sup>麻布大・生命環境

##### O-4 Modification of fumonisin B<sub>1</sub> with various saccharide molecules (各種糖分子によるフモニシン B<sub>1</sub> の誘導化)

○Yin Min Htun、久城 真代、中川 博之  
農研機構

#### 11:05-11:20 休憩

11:20-12:05 一般講演 (O-5 ~ O-7)

座長： 須賀 晴久 (岐阜大学)

O-5 外部から加えた抗酸化酵素によるアフラトキシン生産の制御機構

○古川 智宏、作田 庄平

帝京大・理工

O-6 イソチオシアン酸エステル類のアフラトキシン産生菌に及ぼす影響の検討

○晴山 陽平<sup>1,2</sup>、藤井 義晴<sup>1</sup>、久城 真代<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京農工大、<sup>2</sup>農研機構

O-7 フザリウムのトリコテセン経路酵素遺伝子の進化に伴う基質特異性の変化

○田中 佑弥<sup>1</sup>、杉浦 涼介<sup>1</sup>、足立 健太郎<sup>2</sup>、新海 航輝<sup>2</sup>、前田 一行<sup>1,4</sup>、中嶋 佑一<sup>1</sup>、  
吉成 知也<sup>3</sup>、金丸 京子<sup>1</sup>、小林 哲夫<sup>1</sup>、安藤 直子<sup>2</sup>、木村 真<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名大院・生命農、<sup>2</sup>東洋大院・理工、<sup>3</sup>国立衛研、<sup>4</sup>明治大院・農

12:20-13:20 ランチョンセミナー (同時刻に幹事会開催 幹事会会場：3階第1研修室)

ランチョンセミナー会場：4階第3会議室

L-1 BIOMIN JAPAN 株式会社

L-2 ジーエルサイエンス株式会社

L-3 アジレント・テクノロジー株式会社

13:30-14:00 総会及び授賞式

14:00-14:30 受賞講演

座長：作田 庄平 (帝京大学)

学術奨励賞

「フザリウムの遺伝子発現解析ツールの整備とトリコテセン遺伝子発現制御に関する研究」

中嶋 佑一 (名古屋大学大学院)

14:30-15:30 ポスターセッション (P-1 ~ P-11)

ポスター会場：講演会会場前ホワイエ

ホワイエにて付設展示同時開催

P-1 LCMSMS を用いた飼料中のトリコテセン系カビ毒分析に関する検討

○岸田 拓也、矢本 寛子

(株) 食環境衛生研究所

- P-2 QuEChERS 抽出と脂質除去用固相カラムを使用した乳児用調製乳中のマイコトキシンの分析  
Derick Lucas、○山下 和之  
アジレント・テクノロジー (株)
- P-3 ステリグマトシステインの ELISA によるスクリーニング法の開発  
○加田 睦月<sup>1</sup>、内ヶ島 美岐子<sup>2</sup>、吉成 知也<sup>3</sup>、三宅 司郎<sup>1</sup>、小林 直樹<sup>1</sup>、小西 良子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>麻布大・生命環境、<sup>2</sup>(株)堀場、<sup>3</sup>国立衛研
- P-4 *Fusarium* 属菌による各種トリコテセンの糖抱合の解析  
○新海 航輝<sup>1</sup>、松井 宏介<sup>1</sup>、相川 俊一<sup>2</sup>、木村 真<sup>3</sup>、安藤 直子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東洋大院・理工、<sup>2</sup>東洋大・工技研、<sup>3</sup>名大院・生命農
- P-5 *Fusarium sporotrichioides* 二重遺伝子破壊株による新規 C-7 位水酸化 A 型トリコテセンの創製  
○足立 健太郎<sup>1</sup>、小豆畑 隼<sup>2</sup>、中嶋 佑一<sup>3</sup>、木村 真<sup>3</sup>、安藤 直子<sup>1,2</sup>  
東洋大院・理工<sup>1</sup>、東洋大・理工<sup>2</sup>、名大院・生命農<sup>3</sup>
- P-6 Development of the method for aggressiveness assay of *Fusarium fujikuroi* on rice germination  
○Sultana Sharmin<sup>1</sup>、Shimizu Masafumi<sup>2</sup>、Kageyama Koji<sup>3</sup>、Suga Haruhisa<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>UGSAS, Gifu Univ.、<sup>2</sup>Fac. Appl. Biol. Sci., Gifu Univ.、<sup>3</sup>River Basin Res. Center, Gifu Univ.、<sup>4</sup>Life Sci. Res. Center, Gifu Univ.
- P-7 ジクロロボス-アンモニア (DV-AM) 法を用いた養蜂場におけるアフラトキシシン生産菌の検出  
○西脇 瑛舜、湯下 実穂、山田 悠貴、矢部 希見子  
福井工大・環境・食品
- P-8 ジクロロボス-アンモニア (DV-AM) 法を用いた複数地域におけるアフラトキシシン生産菌のスクリーニング  
○山本 侑加、角屋 直暉、舘 大樹、矢部 希見子  
福井工大・環境・食品
- P-9 アスペルギルス・ニドランズ ST クラスター転写因子 AfIR の性状解析  
○仲西 勝海、清水 公德  
東理大・生物工
- P-10 アスペルギルス属菌 AfIR の機能相補性  
○大橋 侑加、清水 公德  
東理大・生物工

P-11 アスペルギルス・ニドランズ転写因子 AfIR の細胞内局在  
○中尾 若菜、清水 公德  
東理大・生物工

15:30-16:50 シンポジウム

「DON の基準値をめぐる最近の動きとリスク管理」  
座長：高橋 治男（国立医薬品食品衛生研究所）

S-1 食品安全委員会における DON のリスク評価の審議状況  
宮崎 茂（(一財) 生物科学安全研究所）

S-2 我が国における麦類中の DON のリスク管理と含有実態  
漆山 哲生（農林水産省消費・安全局）

16:50-17:00 休憩

17:00-18:00 特別講演

座長：大西 貴弘（国立医薬品食品衛生研究所）

フグにおけるフグ毒の機能について—フグ毒の二重性—  
斎藤 俊郎（東海大学）

18:00-18:05 次回学術講演会世話人挨拶

第 84 回学術講演会世話人 須永 修（BIOMIN JAPAN 株式会社）

18:05-18:10 閉会挨拶

第 83 回学術講演会世話人 大西 貴弘（国立医薬品食品衛生研究所）

18:20-20:20 懇親会

会場：サンピアンかわさき（2 階第 1 交流室）

(※プログラムは細部を修正する場合があります。ご了承ください。)